

令和3年度 土木一般研修 実施要領 (1/2)

	基礎(全般)講座	基礎(技術Ⅰ)講座	基礎(技術Ⅱ)講座
1 概要	土木職員として必要な一般的知識の修得	土木職員として実務に必要な実践的知識の修得	土木職員として実務に必要な実践的知識及び監督員として必要な現場実務の修得
2 目標	□公務員・土木技術者として、建設業法・改正品確法・入札契約適正化法の概要、用地事務等を修得し、実務能力の向上を図る	□道路、河川の設計に関する基礎的な知識を修得するとともに、講義、演習を通じて災害復旧事業に必要な技術と対応策を学ぶ	□土木技術者に必要な積算、施工管理及び監督・検査まで幅広く学ぶとともに、道路施設の維持管理に関する基礎的な知識を修得する
3 研修対象者 県・市町村等の発注者側の職員	建設行政の実務経験が概ね4年以下 及び受講希望者	建設行政の実務経験が概ね4年以下 及び受講希望者	建設行政の実務経験が概ね4年以下 及び受講希望者
4 開催日	令和3年5月14日(金)	令和3年6月11日(金)	令和3年6月18日(金)
5 研修会場	長水建設会館3階 研修講堂	長水建設会館3階 研修講堂	長水建設会館3階 研修講堂
6 研修科目	入札契約制度 新・担い手3法 建設副産物 公共事業に関する協議・許認可 用地事務	設計の基礎(道路) 設計の基礎(河川) 災害復旧事業の基礎知識	積算の基本 施工管理全般 工事監督・検査 維持管理(施設点検)
7 研修費用	無料	無料	無料
8 申込締切日	令和3年5月10日(月)	令和3年5月28日(金)	令和3年6月4日(金)
9 その他 (研修生に関する注意事項)	1) 研修を終了した研修生には受講証を授与します。 2) 宿泊が必要な方は各自で手配してください。 3) 昼食は各自でご用意ください。 4) 研修会場の駐車場は台数に限りがありますので、相乗り又は公共交通機関のご利用をお願いいたします。 5) 研修の教材は当センターホームページよりダウンロードしたものを印刷し、当日ご持参ください。(ご利用方法は、受講決定後に通知書にてご案内いたします)		

令和3年度 土木一般研修 実施要領 (2/2)

	中級(全般)講座	中級(技術Ⅰ)講座	中級(技術Ⅱ)講座
1 概要	土木関係法令の広い知識を修得すると共に、個人の高い倫理観を醸成させる	一般的な構造物の設計や委託成果品の照査ができたための基礎知識を体系的に修得	建設産業を取り巻く最近の動向や、最新技術を活用するための知識を修得する
2 目標	<input type="checkbox"/> 土木関係法令(道路・河川・砂防・都市計画・環境)に関する広い知識を体系的に修得する	<input type="checkbox"/> 構造物の設計の基本事項・設計演習・設計照査の講義・演習を通じて、構造物の設計に関する体系的な基礎知識を修得するとともに、失敗事例から学ぶ	<input type="checkbox"/> 社会資本整備の現状を踏まえ、国土交通省の最新施策や制度等について学ぶとともに、「ICT技術の全面的な活用」に向けての総合的な知識を修得する
3 研修対象者 県・市町村等の発注者側の職員	建設行政の実務経験が概ね5年以上 及び受講希望者	建設行政の実務経験が概ね5年以上 及び受講希望者	建設行政の実務経験が概ね5年以上 及び受講希望者
4 開催日	令和3年10月22日(金)	令和3年11月2日(火)	令和3年11月12日(金)
5 研修会場	長水建設会館3階 研修講堂	長水建設会館3階 研修講堂	松筑建設会館3階 大会議室
6 研修科目	道路関係法令 河川関係法令 砂防関係法令 都市計画法令 環境関係法令	構造物の設計の基礎知識 構造物の設計・照査演習 耐震の診断・照査方法 耐震の設計・照査演習 失敗事例から学ぶ照査のポイント	建設産業の取組み 新技術・新工法の取組み BIM/CIMに関する動向 ICT施工の取組み 防災まちづくりの取組み
7 研修費用	無料	無料	無料
8 申込締切日	令和3年10月8日(金)	令和3年10月19日(火)	令和3年10月29日(金)
9 (研修生に関する注意事項)	その他 1) 研修を終了した研修生には受講証を授与します。 2) 宿泊が必要な方は各自で手配してください。 3) 昼食は各自でご用意ください。 4) 研修会場の駐車場は台数に限りがありますので、相乗り又は公共交通機関のご利用をお願いいたします。 5) 研修の教材は当センターホームページよりダウンロードしたものを印刷し、当日ご持参ください。(ご利用方法は、受講決定後に通知書にてご案内いたします)		